

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

2018年の西日本豪雨で被災した倉敷市真備町地区を盛り上げるために、たこ焼き店を開業した86歳の男性がいます。記事を読み、質問に答えましょう。

全国からの支援で自宅修復

たこ焼きで恩返しを

2018年7月の西日本豪雨で甚大な被害を受けた倉敷市真備町地区を盛り上げようと、たこ焼きを作り続ける男性がいる。同町川辺の藤井五男さん(86)。自身も被災し、災害ボランティアらの協力で自宅の修復を果たした。「生活再建の際に受けた支援への恩を、地元へ貢献することで返したい」と、今日も店に立つ。

3年 西日本豪雨

藤井さんは笠岡市出身。30歳ごろから真備町地区に住居を構え、妻と子ども2人を育て上げた。西日本豪雨では、自宅は2階の床の上まで浸水し、全壊と判定された。在宅避難しながら、被災から4カ月後の11月にリフォームを終えた。比較的早く再建できたの

真備・藤井さん 車を店舗に営業続ける



「支援への恩返しを」とたこ焼きを作る藤井さん

は、災害ボランティアの支援だけでなく、撮りためた家族のや全国から寄せられた義援金 写真もボランティア団体に洗がったからという。住居は、浄してもらい、心身ともに救

特産タケノコ入り「元気与えたい」

西日本豪雨からの復興
頑張る人を応援したいね



6月20日付、山陽新聞日曜ワイド

Q1 ★★☆☆

たこ焼き店を営業する藤井さんは、西日本豪雨でどのような体験をしましたか。第2、3段落から読み取りましょう。

Q2 ★★☆☆

藤井さんがたこ焼き店を開業しようとした理由は何でしょうか。見出しや第1段落を読んで、考えましょう。

Q3 ★★☆☆

藤井さんの店は、たこ焼きを売る以外の役割も果たしています。第5段落を参考に答えましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。